

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 18日

滋賀県知事 三日月大造 殿

提出者

住所 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川1775

氏名 ジャパンパイル株式会社 滋賀工場
工場長 川畑 徳幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0749-42-3135

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

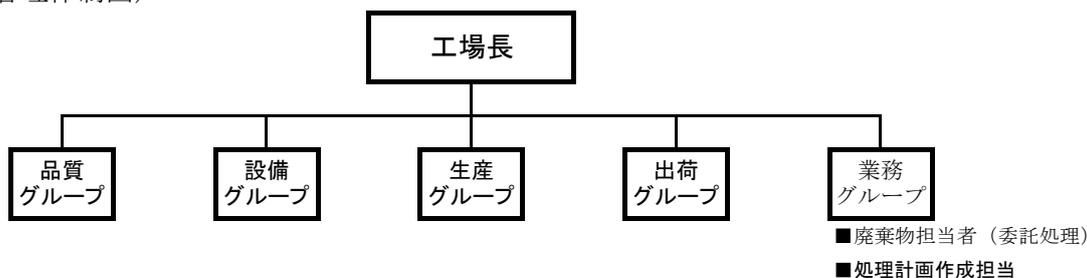
事業場の名称	ジャパンパイル株式会社 滋賀工場
事業場の所在地	滋賀県愛知郡愛荘町愛知川1775番地
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業
②事業の規模	製品出荷額 3,964百万円
③従業員数	24名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・木くず：処理業者に委託し、焼却にて中間処理・コンクリートがら：処理業者に委託し、破碎（再生利用）・ガラス・コンクリート・陶磁器くず：処理業者に委託し、破碎（再生利用）・廃プラスチック類：処理業者に委託し、焼却にて中間処理・廃油：処理業者に委託し、焼却・油水分離にて中間処理・その他がれき類：処理業者に委託し、管理型埋立にて中間処理・最終処分・混合(管理型含む)：処理業者に委託し、選別にて中間処理・特廃アルカリ：処理業者に委託し、中和にて中間処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2024年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり
	排出量	2,008.93 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・木くずは、適正管理で余材の発生を抑える ・脱水機設置 	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり
	排出量	1,902 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートがらについて、製品の不良発生を抑え社内教育を随時行い、廃棄物の排出抑制に努める ・廃油は治具、ボルトに再利用する 	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・木くず・コンクリートがら・廃プラスチック等は分別し保管管理している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、混合物について分別し、適正管理する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	2,008.93 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	1,934.62 t	
	再生利用業者への処理委託量	1,929.22 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	1,902 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,832 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,832 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	木くず		廃プラスチック類		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	36.88 t	35.0 t	20.30 t	19.0 t	1929.22 t	1,832.0 t
これまでに実施した取組	木くずについて、適正管理で余材の発生を抑える、汚泥は脱水機装置を新規設置					
今後実施する予定の取組	コンクリートくずについて、製品の不良発生を抑える。 廃油は治具、ボルトに再利用					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	36.88 t	35.0 t	20.30 t	19.0 t	1929.22 t	1,832.0 t
優良認定処理業者への処理委託量					1929.22 t	1,832.0 t
再生利用者への処理委託量					1929.22 t	1,832.0 t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
これまでに実施した取組	産業廃棄物の処理業者を選定し、契約締結を実施					
今後実施する予定の取組	可能な限り、再生利用者への処理委託、認定熱回収業者へ委託検討する					

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃油		汚泥		その他がれき類	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	17.13 t	16.0 t	0.0 t	0.0 t	0.73 t	0.0 t
これまでに実施した取組	木くずについて、適正管理で余材の発生を抑える、汚泥は脱水機装置を新規設置					
今後実施する予定の取組	コンクリートくずについて、製品の不良発生を抑える。 廃油は治具、ボルトに再利用					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	17.13 t	16.0 t	0.00 t	0.0 t	0.73 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量					0.73 t	0.0 t
再生利用者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
これまでに実施した取組	産業廃棄物の処理業者を選定し、契約締結を実施					
今後実施する予定の取組	可能な限り、再生利用者への処理委託、認定熱回収業者へ委託検討する					

産業廃棄物の種類 現状と計画	混合(管理型含む)		合計			
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	4.67 t	0.0 t	2008.93	1,902.0 t		
これまでに実施した取組	木くずについて、適正管理で余材の発生を抑える、汚泥は脱水機装置を新規設置					
今後実施する予定の取組	コンクリートくずについて、製品の不良発生を抑える。 廃油は治具、ボルトに再利用					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	4.67 t	0.0 t	2008.93 t	1,902.0 t		
優良認定処理業者への処理委託量	4.67 t	0.0 t	1934.62 t	1,832.0 t		
再生利用者への処理委託量			1929.22 t	1,832.0 t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
これまでに実施した取組	産業廃棄物の処理業者を選定し、契約締結を実施					
今後実施する予定の取組	可能な限り、再生利用者への処理委託、認定熱回収業者へ委託検討する					